

## 同時開催の企画展

11月3日(木・祝)  
～2023年1月9日(月・祝)

# みる誕生 鴻池朋子展

会場：当館第1～6展示室、エントランスホール  
料金：一般1,200円(1,000円) 70歳以上600円(500円)  
大学生以下は無料  
※( )内は前売り及び20名以上の団体料金  
主催：静岡県立美術館 / 静岡新聞社・静岡放送

『観客はもはや人間だけではない。』人間の視点中心だったこれまでの芸術は、今、地球規模での問題と共に大きな転換期を迎えている。そう考える現代アーティスト鴻池朋子が、本展では2020年の個展「ちゅうがえり」(アーティゾン美術館)で試みた、従来の美術館の仕組みから観客を解放するさまざまな取り組みを、さらに発展させようとする。夏に開催された高松市美術館からバトンを引き継ぎ、アーティストという生き物も、コレクションという物も、風土や風景と共にリレーし変化していきます。ぜひ新たな美術館を体感してください。

### 鴻池朋子 Tomoko Konoike

主な個展、2016年「根源的暴力」(群馬県立近代美術館ほか/芸術選奨文部科学大臣賞受賞)、2018年「Fur Story」(Leeds Arts University [イギリス])、2020年「ちゅうがえり」(アーティゾン美術館/毎日芸術賞受賞)。1960年、秋田県生まれ。

※イベントの申込方法、切などの詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

おうちでもロダン!

## VR地獄の門

オーギュスト・ロダンの40年近くかけて制作を続けた大作「地獄の門」のVR画像を、ご自宅のパソコンやスマホからお楽しみいただけます。静岡県立美術館デジタルアーカイブでは、その他にも池大雅《蘭亭曲水・龍山勝会図屏風》(重要文化財)の超高精細画像などをご用意しています。ぜひご覧ください。



<https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp/archive/>



## ロダン館を楽しくガイドする ロダン館アプリ

ロダン館彫刻作品の解説を目と耳で楽しめるアプリがリニューアルします。11月3日マルシェ会場にてモニター調査を実施します。新しくなるロダン館アプリを一足早く体験してください。  
協力：静岡県立大学 経営情報学部 渡邊研究室

〒422-8002 静岡県静岡市駿河区谷田53-2  
Tel:054-263-5755 Fax:054-263-5767  
<https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp/>



＜開館時間＞  
10:00～17:30  
(展示室への入室は17:00まで)

ムセイオン静岡

静岡県立美術館  
Shizuoka Prefectural Museum of Art

つながる、次へ



『みる誕生 鴻池朋子展』高松市美術館展示風景2022  
©Tomoko Konoike

11月6日(日)14:00～15:30

## トーク「美術館のケモノミチ」

出演：鴻池朋子×木下直之(当館館長)  
会場：当館講堂  
申込：不要、先着順(定員120名程度)  
料金：無料



# ロダンウィーク2022

## RODIN Week

2022年

11月3日(木・祝)～11月6日(日)

近代彫刻の巨匠オーギュスト・ロダンの作品をまとめて鑑賞できるロダン館は1994年に開館しました。静岡県立美術館では、地域の皆さまに美術館に親しんでいただくため、ロダンの誕生日(11月12日)と命日(11月17日)、そして文化の日になんで、ロダン館と収蔵品展を無料でご観覧いただける特別な期間「ロダンウィーク」を実施しています。

期間中はロダン館と収蔵品展の  
観覧料が無料!!

11月5日(土)

14:00～  
収蔵品展とあわせて  
フランスを時空旅行!  
コンサート

リコーダーと  
サクソフォンでめぐる  
フランス300年の旅

11月3日(木・祝)～11月6日(日)

10:00～12:00 / 13:00～15:30

ちょこっと体験講座  
ミニ考える人づくり

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、コンサート開催中のロダン館への入場制限、イベント内容の変更、中止を行う場合があります。詳しくは、静岡県立美術館公式サイトでご確認ください。 <https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp/>

11月3日(木・祝)

11:00～16:00  
2年ぶりの  
丘の上の開催!  
ロダンマルシェ

10:00～15:00 友の会ひろば

11:00～15:00  
参加者にはプレゼントあり!  
絶景クイズラリー

15:00～

「静岡の名手たち」  
ロダン賞コンサート

同時開催

11月3日(木・祝)～2023年1月9日(月・祝)

みる誕生 鴻池朋子展

9月21日(水)～11月20日(日)

収蔵品展 絶景考II

11月6日(日)

11:00～

収蔵品展「絶景考II」関連講座  
農村を描く印象派画家  
—カミーユ・ピサロとポントワーズ

静岡県立美術館  
Shizuoka Prefectural Museum of Art

つながる、次へ

11月3日(木・祝) 11:00～16:00 ※荒天中止

# 丘の上のロダンマルシェ

会場：静岡県立美術館 正面広場ほか  
主催：草薙マルシェ実行委員会

チーム草薙マルシェがプロデュースする大好評のロダンマルシェが復活！グルメや雑貨のショップが多数出店する充実の一日。お楽しみに！



11月3日(木・祝) 15:00～

# 「静岡の名手たち」 ロダン賞コンサート

会場：ロダン館 料金：無料 申込：不要

協力：静岡音楽館 AOI 指定管理者 (公財) 静岡市文化振興財団

出演者：室井悠李 (ピアノ)

「静岡の名手たち」は静岡音楽館 AOIが1995年より継続しているオーディションで、ロダン賞は合格者のなかから審査員によって選ばれ、ロダン館での演奏にふさわしいと認められた者に送られます。

出演者プロフィール

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部ピアノ科を卒業、大学ピアノ専攻卒業演奏会に出演。学内成績優秀者によるStudents' Concert、桐朋室内楽演奏会に出演。第23回 KOBE 国際音楽コンクール最優秀賞第1位、兵庫県教育委員会賞。第19回万里の長城杯国際音楽コンクール第1位、審査委員長賞。第11回かやぶき音楽堂国際ピアノデュオコンクール第1位グランプリ。第38回飯塚新人音楽コンクール第3位、合わせて九州朝日放送賞、飯塚市教育委員会賞、

主な演奏曲：

C.ドビュッシー ベルガマスク組曲より  
喜びの島

M.ラヴェル 水の戯れ ほか

※曲目は変更になる場合がございます。



©FUKAYA Yoshinobu / auraY2

11月3日(木・祝)

10:00～15:00



## 友の会ひろば

会場：当館正面玄関前

料金：材料費など実費 申込：不要

主催：静岡県立美術館友の会

常葉大学の学生や県内作家たちと、消しゴムスタンプ・段ボールのお面・缶バッジなどのワークショップをお楽しみ下さい。

※小雨決行

11月3日(木・祝)～11月6日(日)

10:00～12:00 / 13:00～15:30

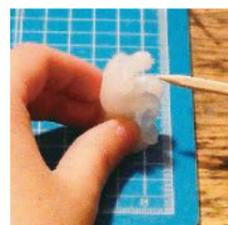
## ミニ考える人づくり

会場：当館エントランス

料金：無料 申込：不要

熱で柔らかくなるプラスチックねんどを使って、ロダンの《考える人》を作ります。

※先着100名程度で終了させていただく場合があります。



11月3日(木・祝)

11:00～15:00

## 絶景クイズラリー

料金：無料 申込：不要

「絶景考Ⅱ」展をご覧になってクイズに回答した方に、先着で缶バッジなどのオリジナルグッズをプレゼントします。回答用紙は、クイズラリー開催日に収蔵品展入口、マルシェ会場で配布しています。

(グッズの引き換えは16:00まで)



11月5日(土) 14:00～

# リコーダーとサクソフォンでめぐる フランス300年の旅

会場：ロダン館 料金：無料 申込：不要 上演時間：約60分 協力：静岡大学

出演者：長瀬正典(リコーダー、サクソフォン)、後藤友香理(ピアノ)、長谷川慶岳(作曲)

サクソフォンはロダンと同じ1840年生まれ比較的新しい楽器です。一方、リコーダーはすでに15～16世紀のルネサンスの時代には盛んに演奏されていました。これらの楽器と、ルネサンスから近代までフランス音楽の時間旅行へ出かけましょう！



長瀬正典 (リコーダー、サクソフォン)

東京藝術大学音楽学部器楽科(サクソフォン)を経て、静岡大学大学院教育学部教育学研究科修了。現在、東京藝術大学、愛知県立芸術大学、静岡大学、常葉大学短期大学部、浜松学芸高校、各非常勤講師。

後藤友香理 (ピアノ)

東京藝術大学大学院博士後期課程修了博士号取得。静岡県学生音楽コンクール審査員、静岡音楽館 AOI 市民会議委員。現在、静岡大学教育学部講師。



長谷川慶岳 (作曲)

東京藝術大学音楽学部作曲科を経て同大学院修士課程作曲専攻を修了。その後フランスに留学し、パリ・エコール・ノルマル音楽院作曲科にて高等ディプロムを首席で取得。現在、静岡大学教育学部准教授。作曲や音楽理論を担当している。

主な演奏曲：

クーブラン 恋のうぐいす

ビゼー 「アルルの女」より間奏曲

ドビュッシー ラブソディ

長谷川慶岳 ピアノとサクソフォンのための新作 ほか

コンサートとあわせて見たい! 絵画でめぐるフランスの旅

9月21日(水)～11月20日(日)

収蔵品展

## 絶景考Ⅱ

ロダンウィーク開催中は無料♪

会場：当館第7展示室

料金：一般300円(団体200円)

70歳以上、大学生以下は無料

シニャックが描いた陽光眩しい南フランスやゴッゲンがその素朴な自然と風俗に惹かれたブルターニュなど、フランス各地の風景を19世紀以降に描かれた作品を通してご覧いただけます。清水登之や佐伯祐三ら日本人画家による作品にも注目します。

フロアレクチャー

10月22日(土) 14:00～14:40

申込不要 要観覧券

担当学芸員が展示をわかりやすく解説します。



カミーユ・ピサロ

《ライ麦畑、グラット＝ココックの丘、ポントワーズ》  
1877年 静岡県立美術館蔵

11月6日(日) 11:00～

「絶景考Ⅱ」関連講座

## 農村を描く印象派画家 —カミーユ・ピサロとポントワーズ

会場：当館講座室

料金：無料

定員：先着25名

講師：深尾茅奈美(静岡市美術館学芸員)

申込：不要

ロダンと同時期に活躍したカミーユ・ピサロ。収蔵品展で展示中の《ライ麦畑、グラット＝ココックの丘、ポントワーズ》を中心に据え、ピサロ作品の特徴をご紹介します。彼が描いた「近代」の農村像を読み解きます。

講師プロフィール：

京都大学博士後期課程、研究指導認定退学。専門はフランス印象派。主な論文に「カミーユ・ピサロ作『小川に足を浸ける女』に関する考察」など。

# ロダンウィーク2022 RODIN Week

2022年11月3日(木・祝)～11月6日(日)

期間内にロダン館で行われるイベントや収蔵品展には無料でご入場いただけます。